

知床の窓から見えるもの

2014年8月7日（木曜日）

「第1回診療所“まち愛”健康講座の開催」



8月6日午後5時半から、診療所の待合室を利用した初めての健康講座を開催いたしました。これは、「①健康講座・体験会などを通し、親しみやすい診療所になりたい」「②町民の皆様の健康づくりのための情報を提供したい」「③さまざまな職員が講師を担うことで、地域へ貢献したい」という目的があります。

今回のテーマは「あなたの肺を一緒に守りたい！！～羅臼町は、肺がんが多い町！？」でした。羅臼町は漁師町です。皆さんのイメージされる「漁師＝喫煙者」というのはあながち間違いではなく、役場の保健師さんからは、まわし煙草などの習慣や喫煙が原因でがんで死亡される方が羅臼町では多いという話から始まり、外来看護師による「禁煙外来」についての説明、参加者からの「禁煙体験談」を、そして新所長の田川医師の講座という流れで進行しました。「煙草は吸う毒物」であることや「煙草がリスクとなる肺がんが日本の死因第一位」であることなど、よく知っているようで知らなかった「煙草の本性」を知ることができました。参加されていた方たちはメモをしながら熱心に聞き入っていました。体験会は、肺年齢の測定でした。聞くだけではなく体験し、考えて頂くことも大切と思います。今回は麻布歯科診療

所の大沼先生にも煙草とお口の健康についてお話をしていただきました。依頼を快く受けてくださりとても感謝しています。

そしてこの企画には、「“まち愛”出前図書室」という名前で図書室の司書さんにも来て頂き、当日の内容に合った本の貸し出しをしていただきました。司書さんは初めての試みで「これからいろいろな場で出前図書室をしていけたらいいですね」とお話しされていました。返却BOXも診療所窓口にありますのでご利用ください。

“まち愛”健康講座は病気の治療や予防のみならず、健康な生活を支える視点を大切に様々な方々と協力して連携の輪を広げていけたらと思います。次回は10月を予定しています。どうぞご参加ください。

